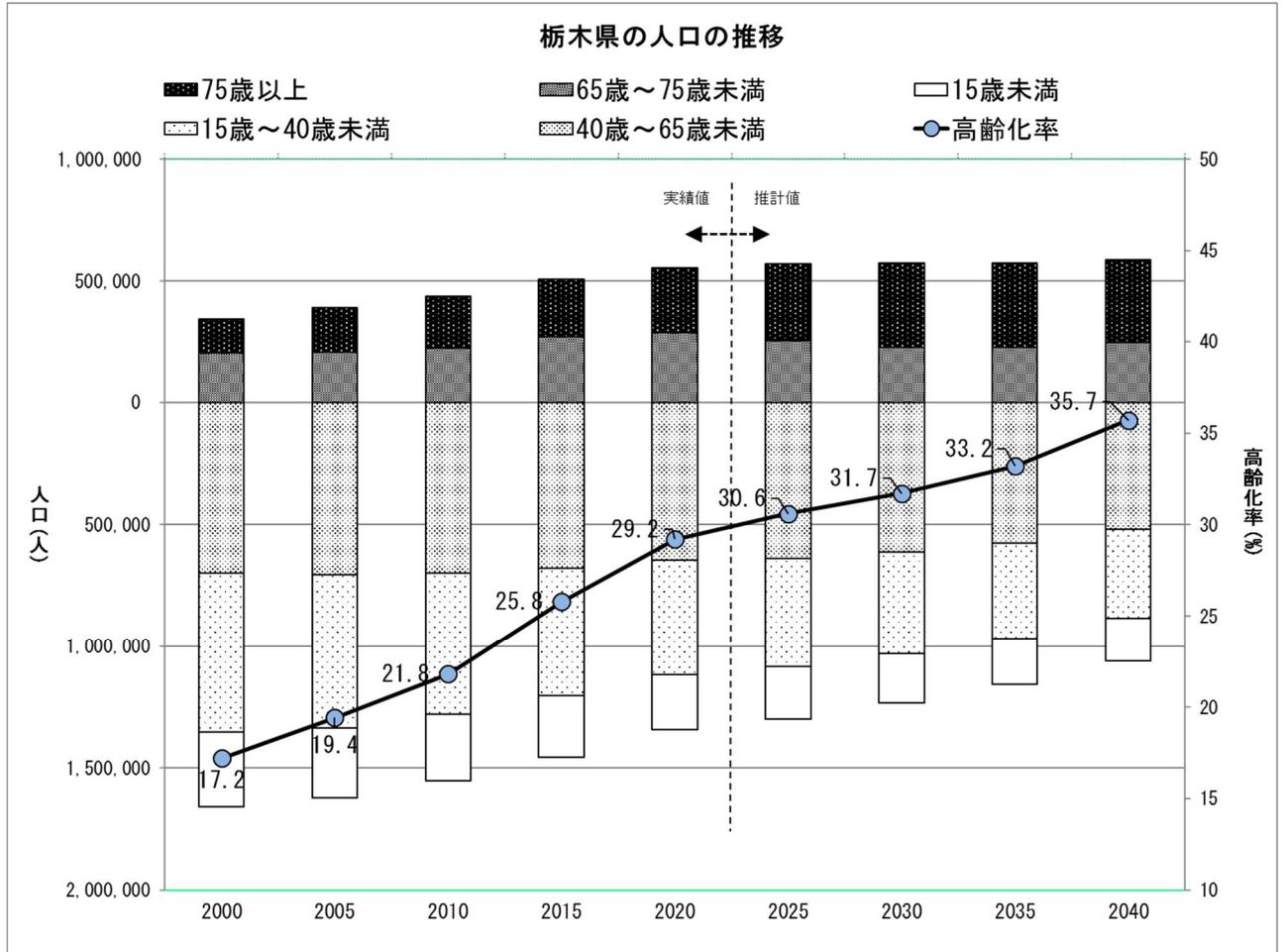


# I 本県の高齢者の現状

## 1 人口・世帯

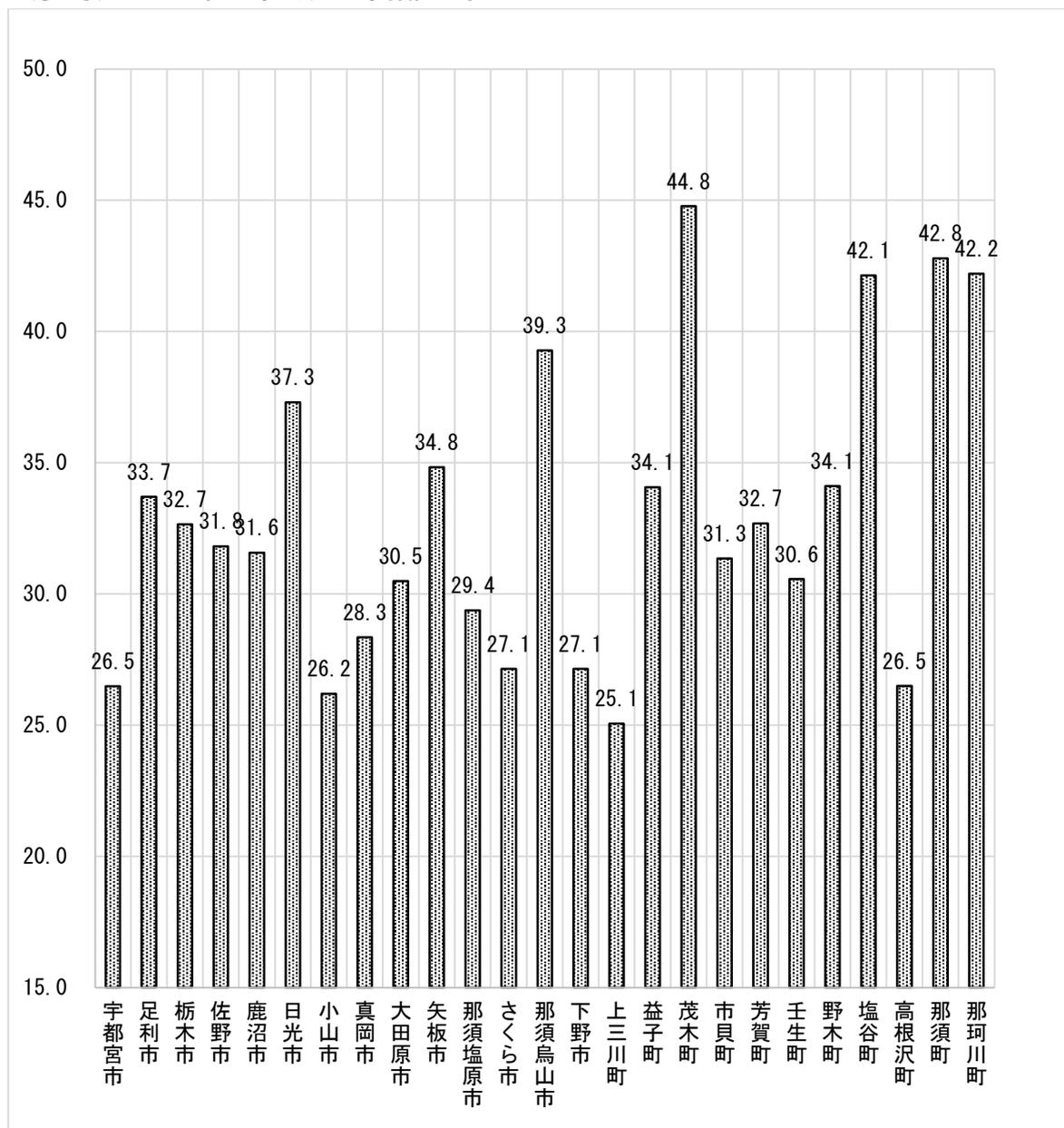
### (1) 高齢者人口・高齢化率の推移



	2000	2005	2010	2015	2020	2025	2030	2035	2040
人口 (人)	2,004,817	2,016,631	2,007,683	1,974,255	1,897,545	1,872,842	1,805,949	1,730,414	1,647,288
65歳～75歳未 (人)	201,334	207,089	222,633	269,430	286,743	252,796	224,686	224,191	247,091
75歳以上 (人)	143,172	183,807	215,563	238,962	267,638	319,522	348,535	350,008	340,638
高齢者人口 (人)	344,506	390,896	438,196	508,392	554,381	572,318	573,221	574,199	587,729
高齢化率 (%)	17.2	19.4	21.8	25.8	29.2	30.6	31.7	33.2	35.7
高齢化率(全国) (%)	17.3	20.1	22.8	26.3	28.7	30.0	31.2	32.8	35.3

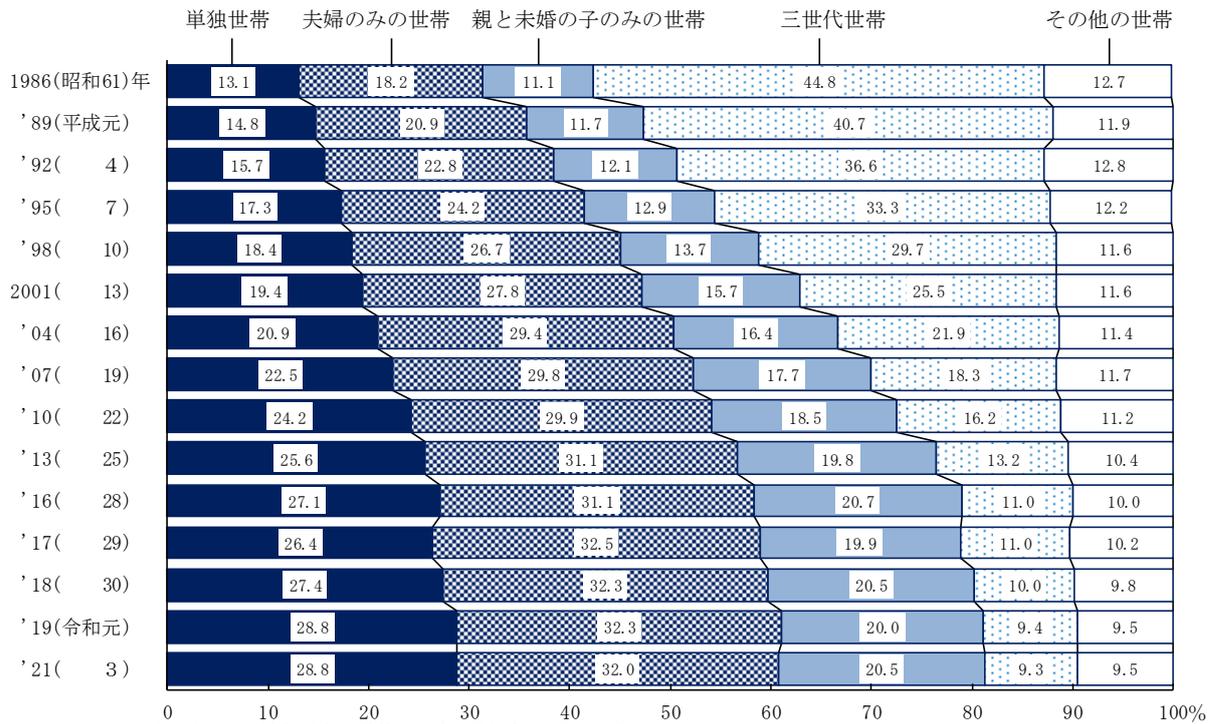
(出典) 2000年～2020年まで：総務省「国勢調査」(「人口」は年齢不詳者を除く)  
 2025年以降：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(平成30(2018)年推計)」

(参考) 2022年 市町別の高齢化率



出典：栃木県「年齢別人口調査結果」(令和4(2022)年10月)

## (2) 65歳以上の者のいる世帯の世帯構造の年次推移（全国）



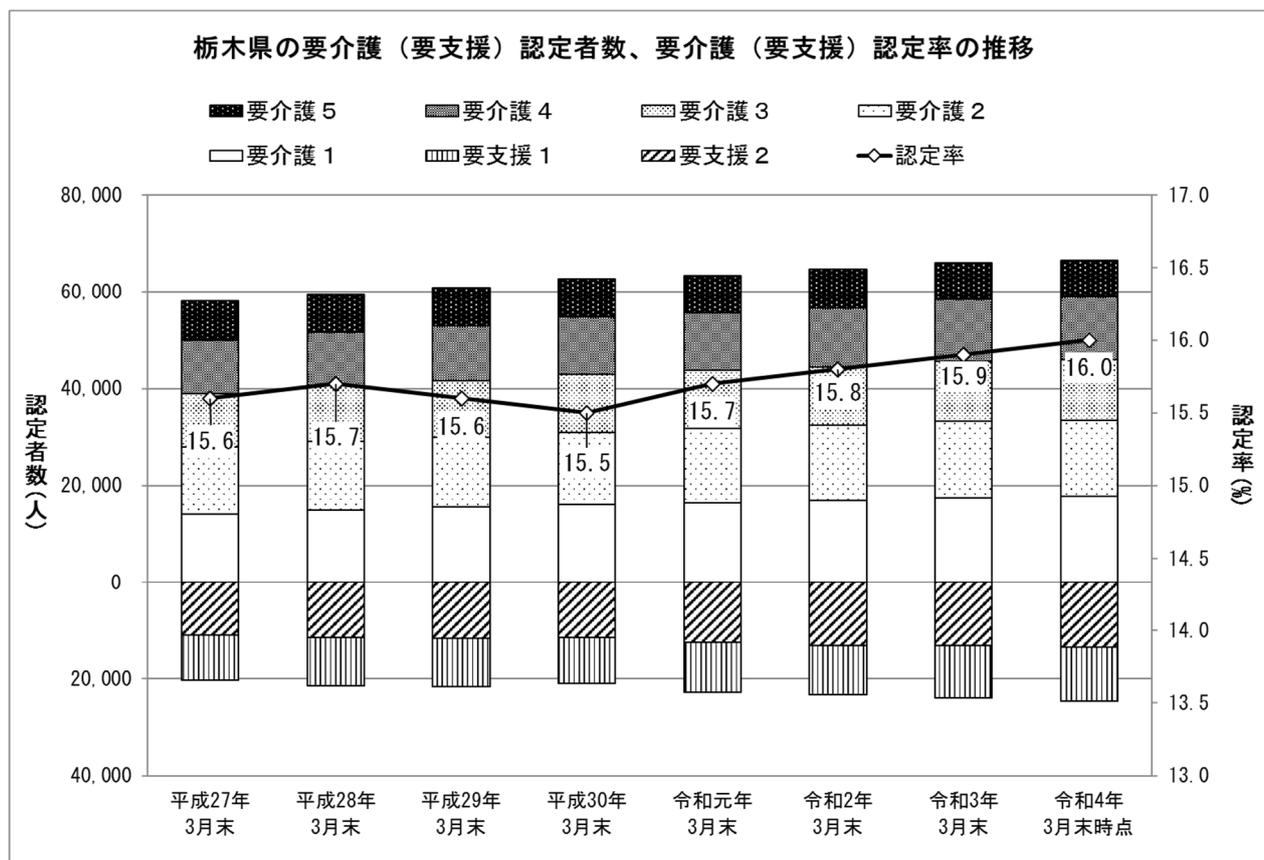
注：1) 1995(平成7)年の数値は、兵庫県を除いたものである。  
 2) 2016(平成28)年の数値は、熊本県を除いたものである。  
 3) 2020(令和2)年は、調査を実施していない。  
 4) 「親と未婚の子のみの世帯」とは、「夫婦と未婚の子のみの世帯」及び「ひとり親と未婚の子のみの世帯」をいう。

出典：厚生労働省「2021年 国民生活基礎調査」

○世帯構造をみると、「夫婦のみの世帯」が 825 万 1 千世帯（65 歳以上の者のいる世帯の 32.0%）で最も多く、次いで「単独世帯」が 742 万 7 千世帯（同 28.8%）、「親と未婚の子のみの世帯」が 528 万 4 千世帯（同 20.5%）となっています。

## 2 介護

### (1) 要介護認定者数・対高齢者割合

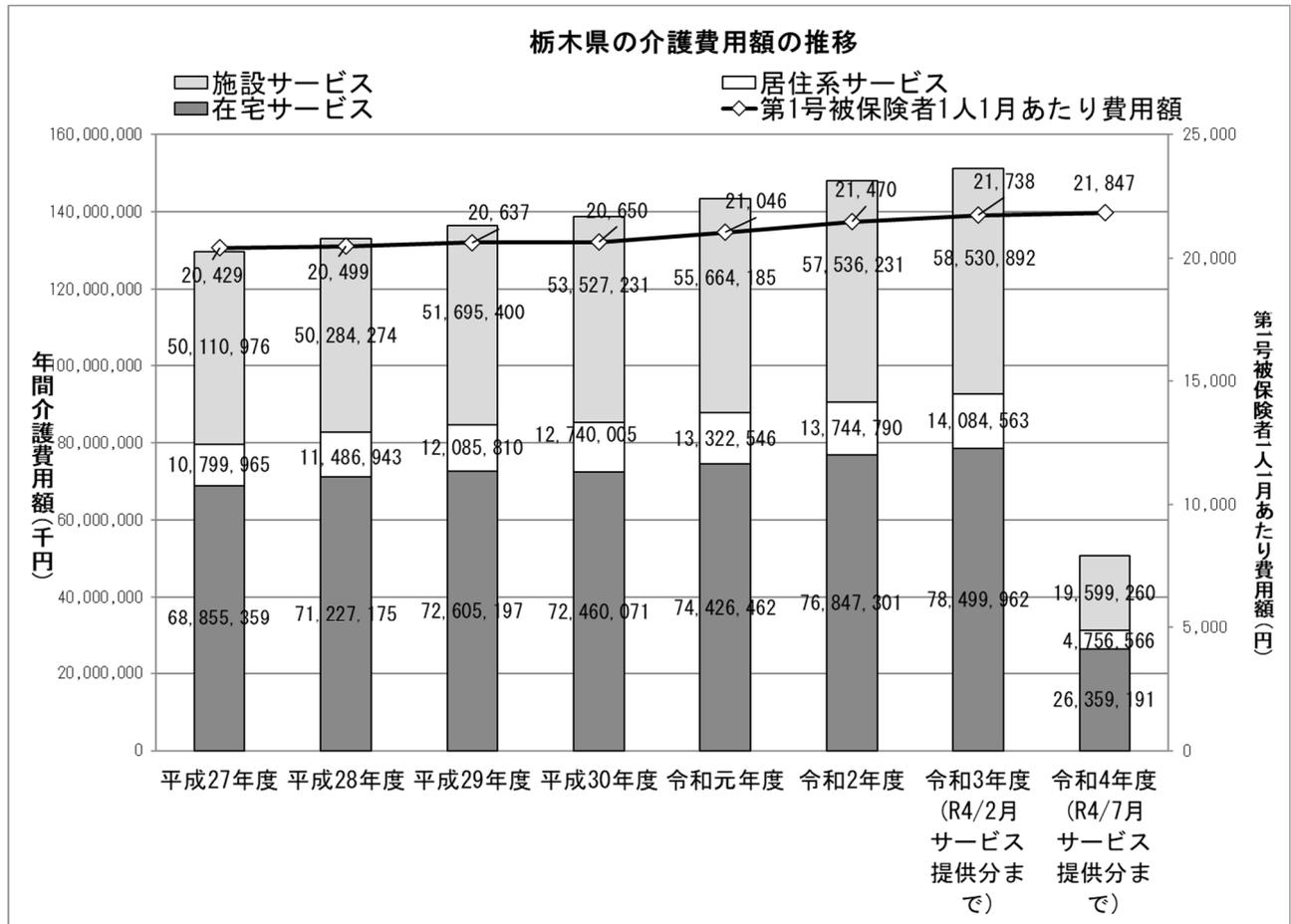


	平成27年 3月末	平成28年 3月末	平成29年 3月末	平成30年 3月末	令和元年 3月末	令和2年 3月末	令和3年 3月末	令和4年 3月末時点
認定者数 (人)	78,396	81,040	82,558	83,682	86,098	87,945	89,929	91,032
要支援 1 (人)	9,300	10,035	10,022	9,528	10,244	10,204	10,697	11,144
要支援 2 (人)	10,987	11,408	11,563	11,488	12,453	13,083	13,173	13,409
要介護 1 (人)	14,078	14,953	15,632	16,110	16,486	16,936	17,519	17,844
要介護 2 (人)	13,879	14,200	14,407	14,918	15,234	15,525	15,756	15,631
要介護 3 (人)	11,022	11,447	11,572	11,969	11,974	12,033	12,374	12,444
要介護 4 (人)	10,948	10,980	11,320	11,714	11,802	12,157	12,757	12,985
要介護 5 (人)	8,182	8,017	8,042	7,955	7,905	8,007	7,653	7,575
認定率 (%)	15.6	15.7	15.6	15.5	15.7	15.8	15.9	16.0
認定率 (全国) (%)	17.9	17.9	18.0	18.0	18.3	18.4	18.7	18.9

(出典) 厚生労働省「介護保険事業状況報告」

- 認定者数は年々増加しており、特に、要支援 1・2 や要介護 1 の方が増加しています。
- 認定率は全国平均を下回っており、全国と比べて伸びは緩やかであるものの、長期的には上昇傾向となっています。

## (2) 介護費用額の推移

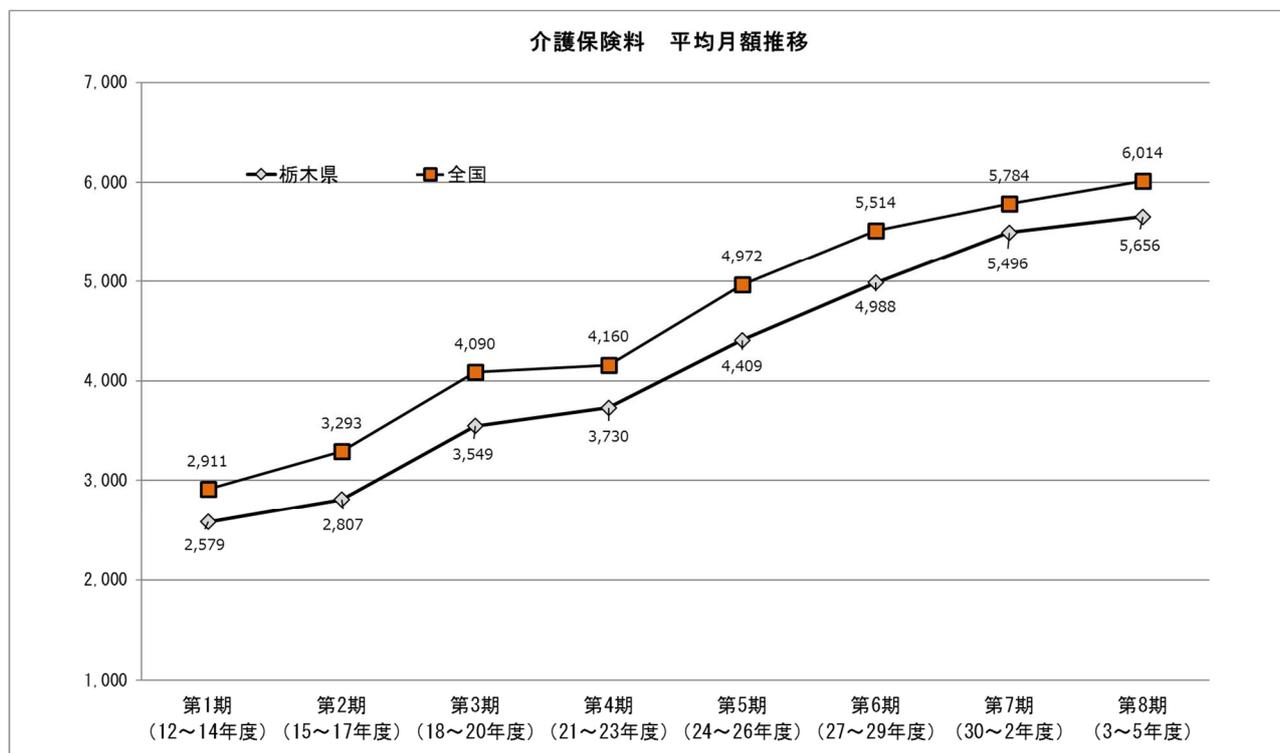


	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (R4/2月サービス提供分まで)	令和4年度 (R4/7月サービス提供分まで)
費用額 (千円)	129,766,299	132,998,391	136,386,407	138,727,307	143,413,194	148,128,323	151,115,417	50,715,017
在宅サービス (千円)	68,855,359	71,227,175	72,605,197	72,460,071	74,426,462	76,847,301	78,499,962	26,359,191
居住系サービス (千円)	10,799,965	11,486,943	12,085,810	12,740,005	13,322,546	13,744,790	14,084,563	4,756,566
施設サービス (千円)	50,110,976	50,284,274	51,695,400	53,527,231	55,664,185	57,536,231	58,530,892	19,599,260
第1号被保険者1人1月あたり費用額 (円)	20,429	20,499	20,637	20,650	21,046	21,470	21,738	21,847
第1号被保険者1人1月あたり費用額 (全国) (円)	22,927	22,967	23,238	23,499	24,106	24,567	25,132	25,474

(出典) 【費用額】平成26年度から令和2年度：厚生労働省「介護保険事業状況報告(年報)」、令和3年度：「介護保険事業状況報告(月報)」の12か月累計、令和4年度：直近月までの「介護保険事業状況報告(月報)」の累計(※補足給付は費用額に含まれていない)  
 【第1号被保険者1人あたり費用額】「介護保険事業状況報告(年報)」(または直近月までの月報累計)における費用額を「介護保険事業状況報告(月報)」における第1号被保険者数の各月累計で除して算出

- 介護費用は年々増加しており、平成27年度に比べると令和3年度は約1.2倍となっています。
- 一人あたりの費用額は、全国平均を下回っている状況です。

### (3) 介護保険料 平均月額推移



○ 介護保険料は期を重ねるごとに増加しており、第8期の保険料は第1期に比べ約2.2倍となっていますが、第7期から第8期にかけては、+160円(+2.2%)と微増となりました。また、全国平均より358円低くなっています。

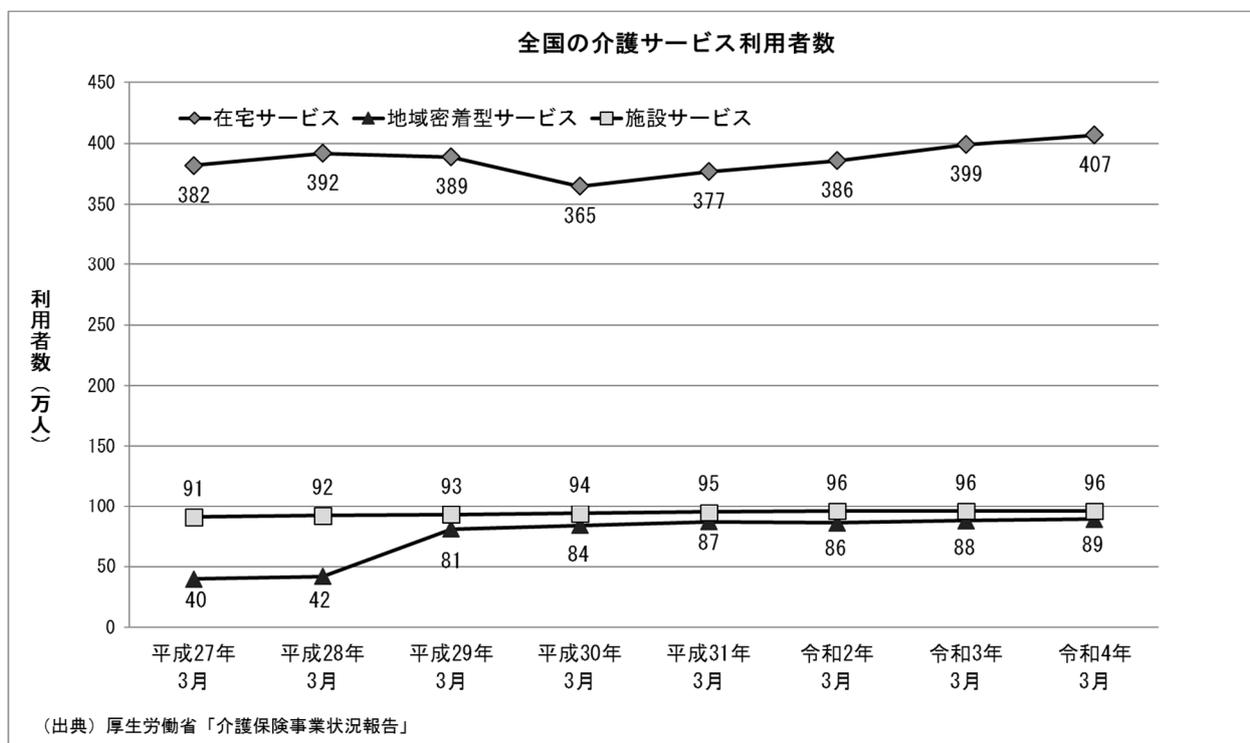
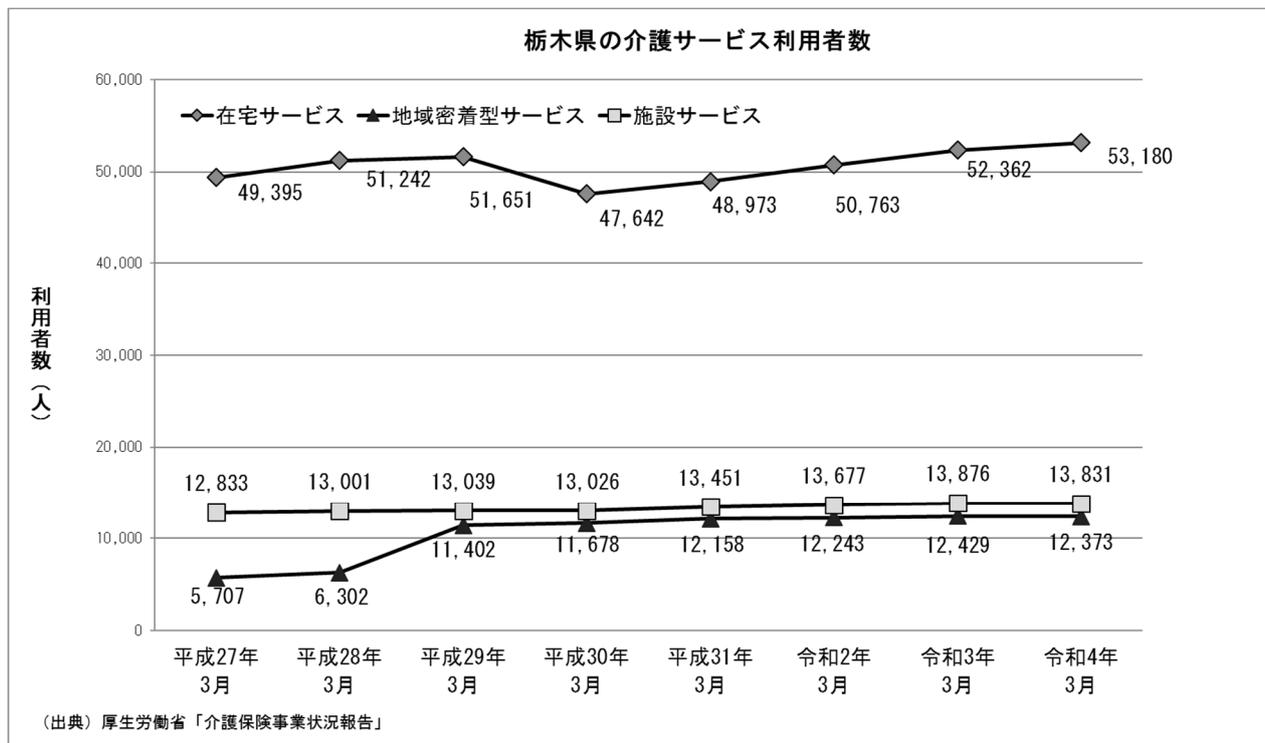
#### (参考) 市町村別の第8期介護保険料平均月額

宇都宮市	足利市	栃木市	佐野市	鹿沼市	日光市	小山市	真岡市	大田原市
5,641	5,550	5,998	5,850	5,700	4,800	5,741	5,910	6,000

矢板市	那須塩原市	さくら市	那須烏山市	下野市	上三川町	益子町	茂木町	市貝町
6,000	5,400	5,500	5,529	5,600	6,080	4,872	4,841	5,500

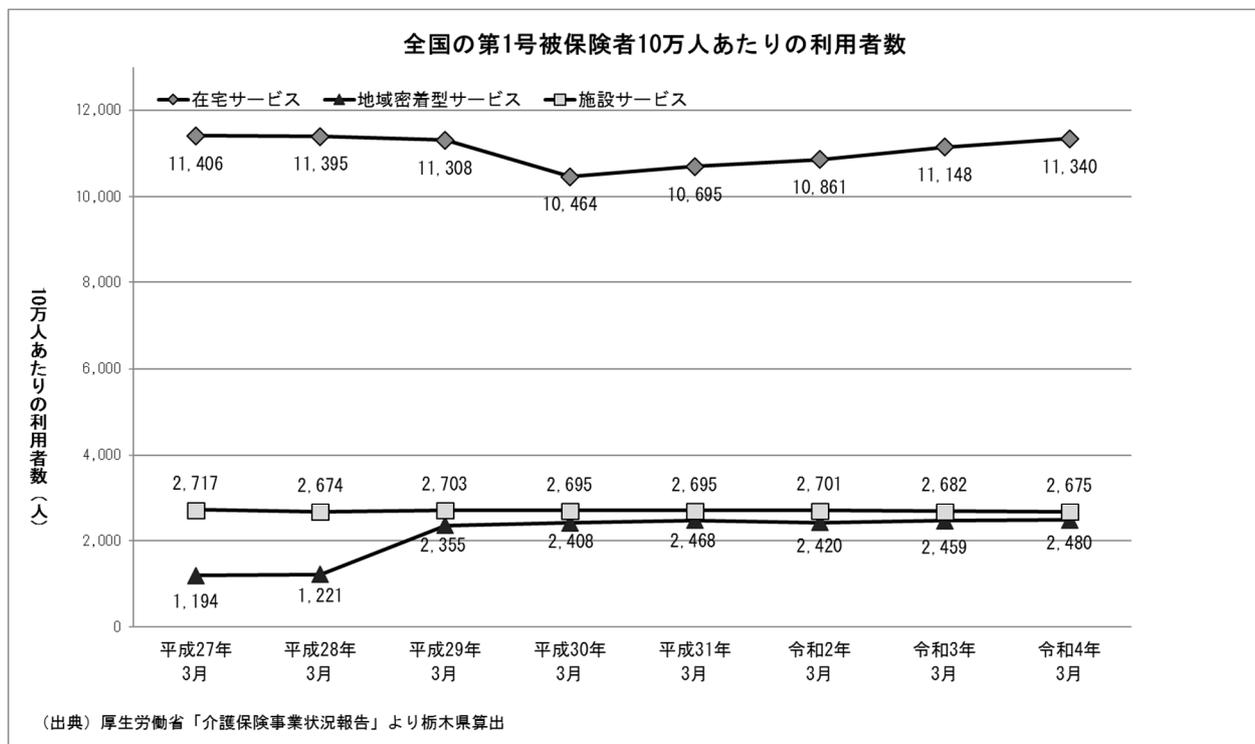
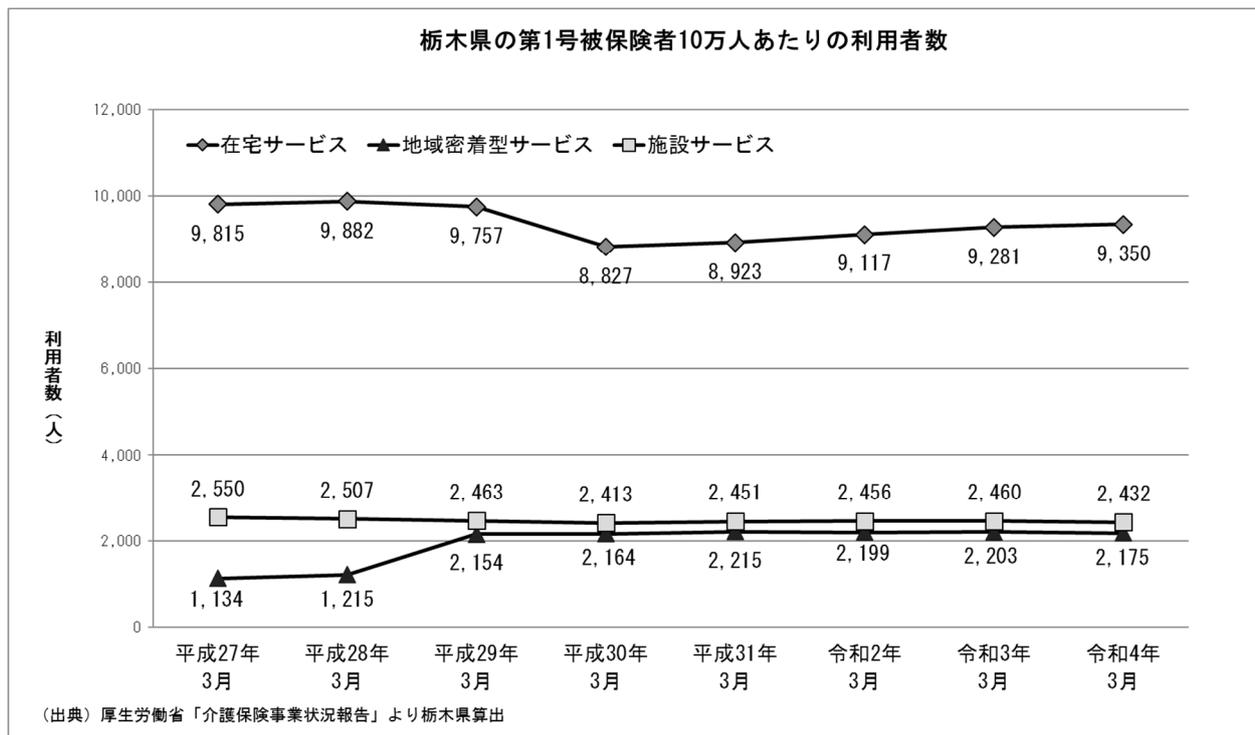
芳賀町	壬生町	野木町	塩谷町	高根沢町	那須町	那珂川町
5,800	5,500	5,700	6,000	6,000	5,806	5,700

#### (4) 介護サービス利用者数の推移



○ 本県・全国ともに在宅サービス及び地域密着型サービスの利用が増加している状況です。

(5) 第1号被保険者10万人あたりの利用者数

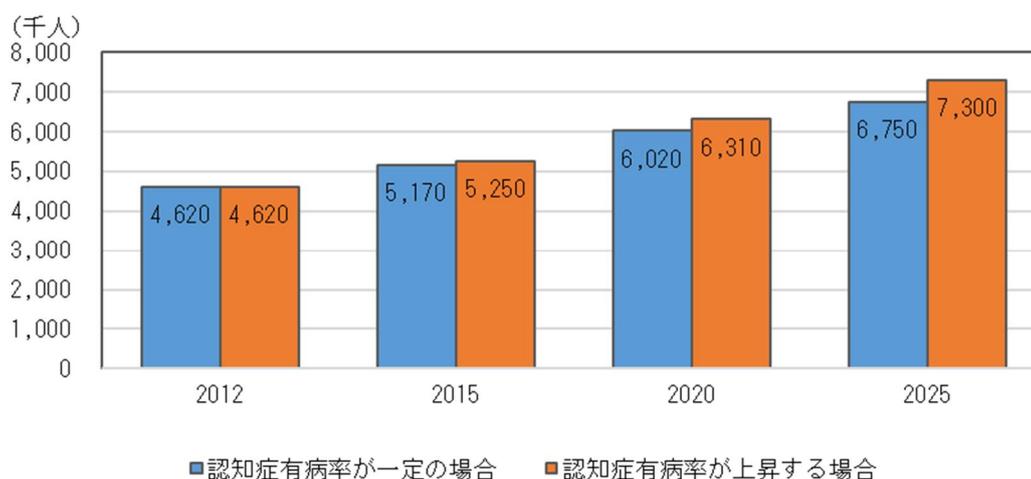


## (6) 認知症高齢者数の推計

高齢者人口に対する認知症高齢者の出現率〔全国〕

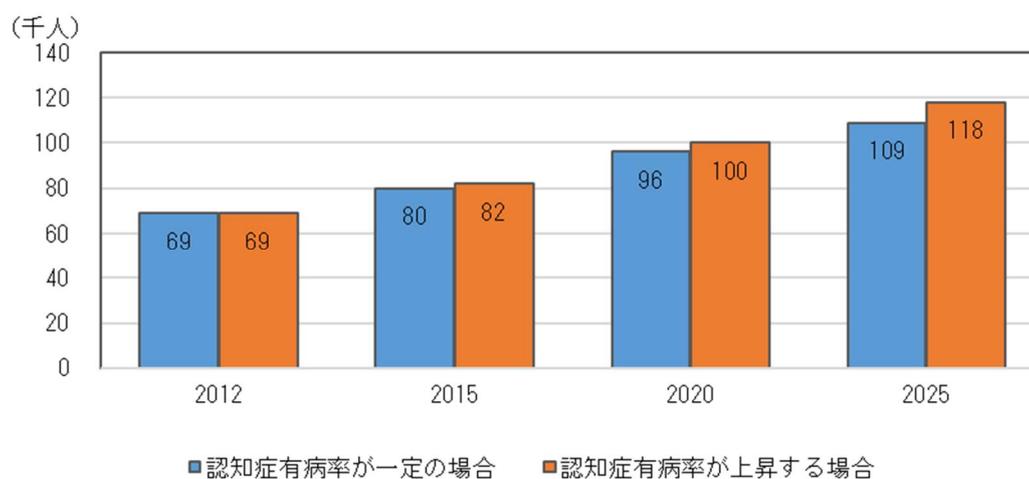
	平成24年 (2012)	平成27年 (2015)	令和2年 (2020)	令和7年 (2025)
認知症有病率が一定の場合	15.0%	15.7%	17.2%	19.0%
認知症有病率が上昇する場合	15.0%	16.0%	18.0%	20.6%

高齢者人口に対する認知症高齢者数の将来推計〔全国〕



出典：【厚生労働省「認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）」【参考】認知症の人の将来推計について」（平成27年1月）】

上記推計を本県の状況にあてはめたもの〔栃木県〕



出典：【厚生労働省「認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）」【参考】認知症の人の将来推計について」（平成27年1月）及び県内市町の高齢者数推計に基づき推計】

## (7) 介護職員数の推移

【栃木県の就業介護職員数（常勤換算）・介護福祉士の割合（各年10月1日時点）】

（人、％）

	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
介護職員数	15,541	15,654	15,476	15,846	19,041	19,324	19,295	19,709
介護福祉士数	7,062	7,329	7,598	7,797	9,302	9,766	9,790	9,941
介護職員（無資格）	8,479	8,325	7,878	8,049	9,739	9,558	9,505	9,768
介護福祉士の割合	45.4	46.8	49.1	49.2	48.8	50.5	50.7	50.4

資料出典：介護サービス施設・事業所調査（厚生労働省）

※H30から、調査方法を全数調査から標本調査に変更したため、対前年比較には留意。



（参考）2025年度に向けた介護人材の必要数

（単位：人）

都道府県	2019年度（令和元年度）の介護職員数	2023年度（令和5年度）		2025年度（令和7年度）	
		需要見込み	現状維持シナリオによる供給見込み	需要見込み	現状維持シナリオによる供給見込み
全国	2,105,885	2,328,460	2,182,387	2,426,079	2,205,248
栃木県	27,585	31,941	28,349	33,367	28,597

（近県の状況）

（単位：人）

都道府県	2019年度（令和元年度）の介護職員数	2023年度（令和5年度）		2025年度（令和7年度）	
		需要見込み	現状維持シナリオによる供給見込み	需要見込み	現状維持シナリオによる供給見込み
茨城県	42,001	46,964	43,001	49,020	43,323
群馬県	37,201	38,751	38,619	40,843	38,965
埼玉県	93,494	107,207	100,212	114,644	102,408
千葉県	86,890	97,325	93,255	102,149	95,036
東京都	183,111	214,551	189,708	223,022	192,073
神奈川県	139,335	160,655	150,492	170,757	154,301

出典：令和3(2021)年7月厚生労働省発表

○ 介護職員数に占める介護福祉士の割合が増加しています。

### 3 健康 健康寿命の状況

#### 健康寿命

	男性			女性		
	H25	H28	R1	H25	H28	R1
栃木県	71.17	72.12	72.62	74.83	75.73	76.36
全国	71.19	72.14	72.68	74.21	74.79	75.38
全国との差	-0.02	-0.02	-0.06	0.62	0.94	0.98
前回との比較		0.95	0.50		0.90	0.63

#### 平均寿命

	男性			女性		
	H25	H28	R2	H25	H28	R2
栃木県	80.10	80.10	81.00	86.24	86.24	86.89
全国	80.21	80.98	81.56	86.61	87.14	87.71
全国との差	-0.11	-0.88	-0.56	-0.37	-0.90	-0.82
前回との比較			0.90			0.65

※栃木県はH25、H28ともにH27の値

#### 平均寿命と健康寿命の差

	男性			女性		
	H25	H28	R2	H25	H28	R2
栃木県	8.93	7.98	8.38	11.41	10.51	10.53
全国	9.02	8.84	8.88	12.40	12.35	12.33
全国との差	-0.09	-0.86	-0.50	-0.99	-1.84	-1.80

※R2はR1の健康寿命の値と比較

#### 【出展】

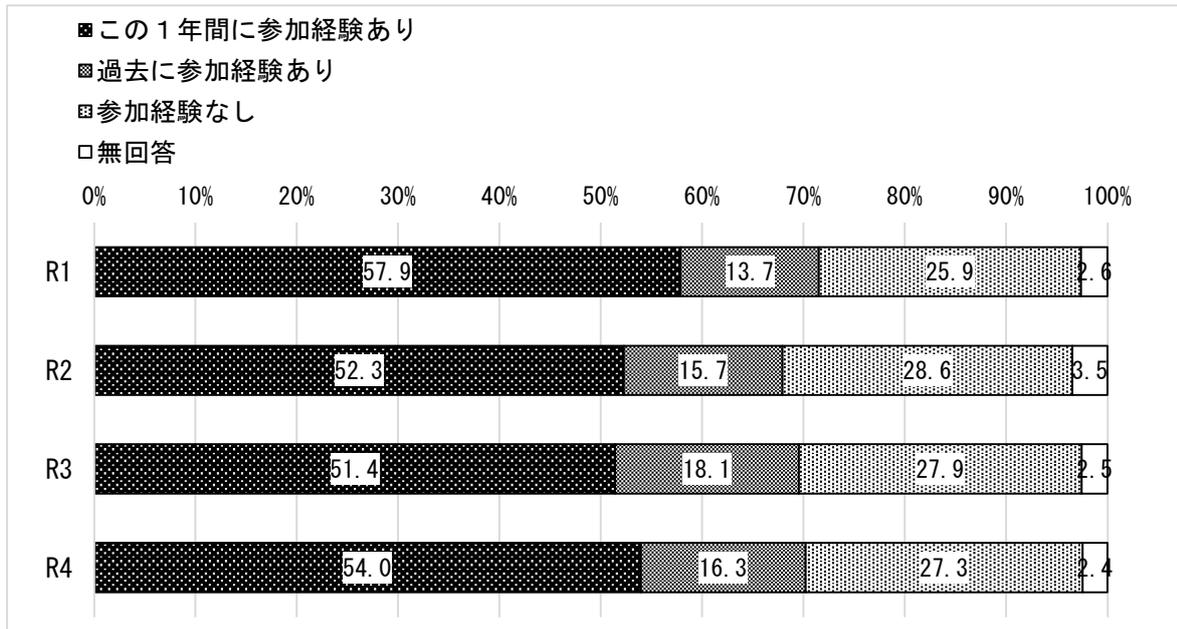
健康寿命：厚生労働科学研究費補助金研究班算定

平均寿命：完全生命表

- 男性は、前回と比較して0.50年延伸しました。また、全国値と比べるとほぼ同等でした。
- 女性は、前回と比較して0.63年延伸しました。また、全国値を0.98年上回りました。

## 4 社会参加

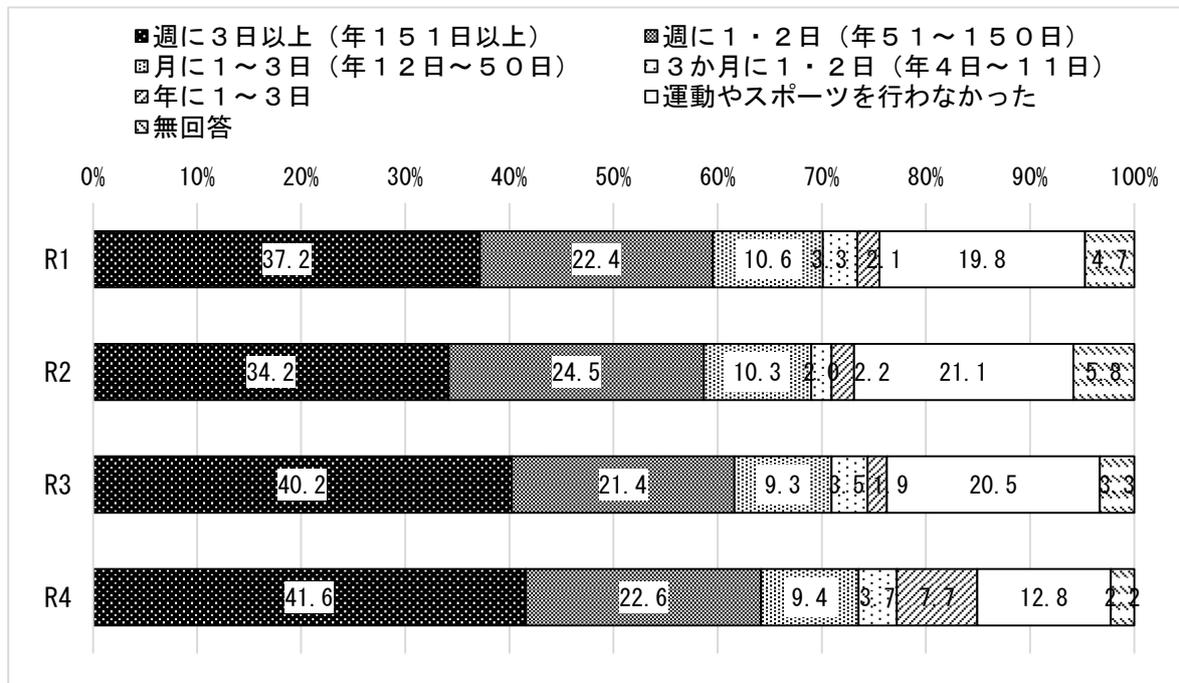
### (1) 高齢者の社会貢献活動への参加状況の推移



出典：栃木県「県政世論調査」から65歳以上の回答を集計。

○ 高齢者の約5割～6割の方が、社会貢献活動に参加しています。

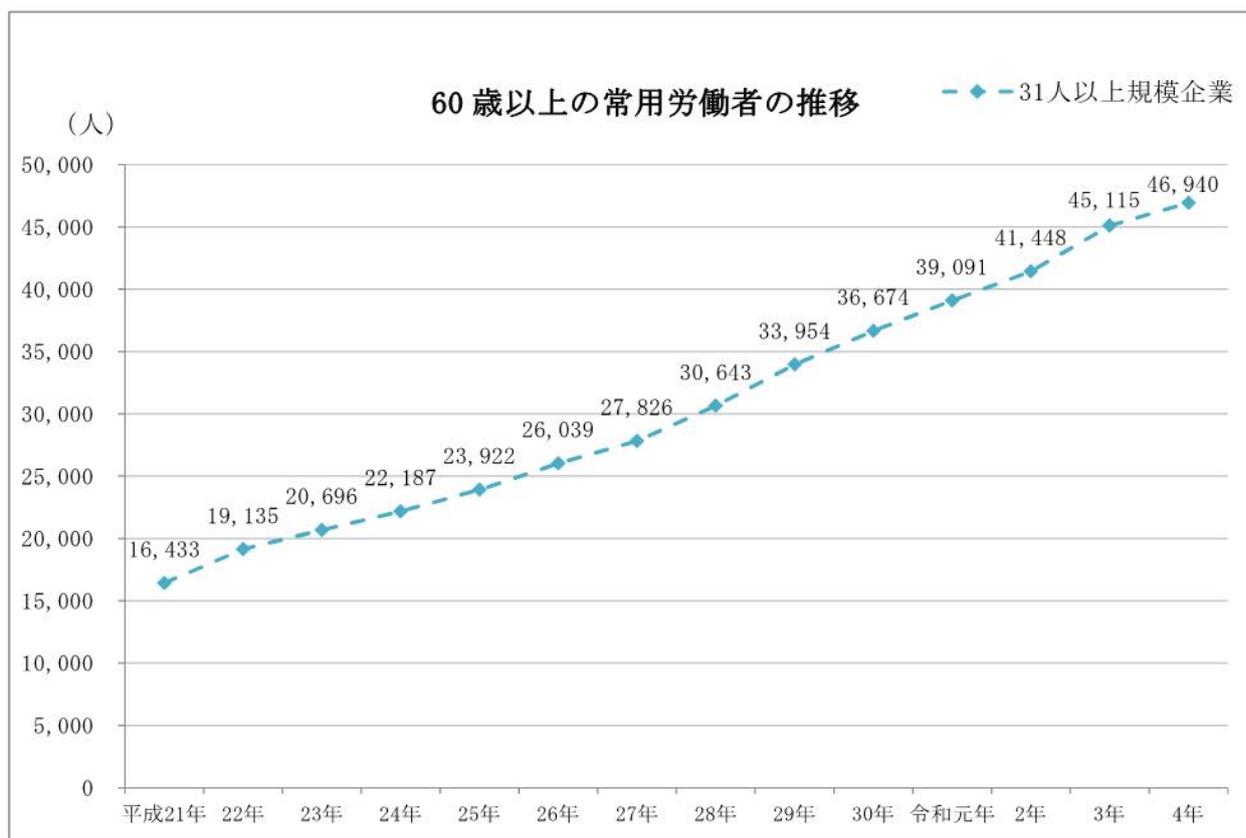
### (2) 高齢者のスポーツへの参加状況の推移



出典：栃木県「県政世論調査」から65歳以上の回答を集計。

○ 高齢者の約6割～7割の方が、週に1回以上、スポーツに参加しています。

## 5 雇用



出典：栃木労働局「高齢者の雇用状況」令和4年12月発表

○ 60歳以上の常用労働者数は、年々増加しています。